

# 『紡ぐ』

2021.11.1 第30号

発行 教育相談室「あした塾」

投稿

# 故郷あゝ水

## 私は誇りを持っています

彦根市  
飛奈久美子

私が穴水を離れて40年余り経ちます。

春夏秋冬の長期休暇中、田植え、稲刈り、そして冠婚葬祭などで、一年に数回、帰省しています。大阪の友人に「穴水ってどんなところ？」と聞かれたら、「自然がいついっしょで、時間がゆつりと流れる癒しの町」と答えます。彼女の期待するものは存分に満たされませんが、私はそんな穴水に誇りを持っています。我が家の子どもたちは穴水が大好きです。過疎化が進んでいる問題はあるのですが、コロナ禍の中心働き方も変わってきています。穴水に戻って来る人や穴水に移住して来てくれる方が増えているのではないかと感じています。

時折、「穴水音頭」を口ずかしています。

(飛奈さんは穴水明干寺出身の方です。)



(彦根 明干寺地区)

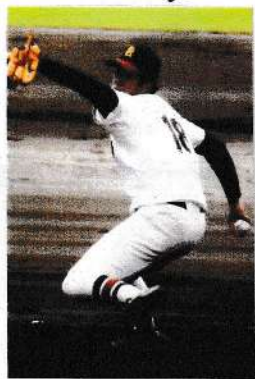


(彦根 宇賀川地区)

# 穴水の2人目の投手

## 松井友飛投手

10月11日に行われたプロ野球ドラフト会議で、穴水中学校、穴水高校、金沢学院大学と進んだ松井友飛選手が東北楽天から1位指名されました。中学校、高校と素晴らしい活躍を続けてきた松井選手。その後の出展



(プロ野球楽天所属)

いと頑張っている努力が自分の道を切り開いてくれたのです。ここで、穴水所出身のプロ野球選手は、先く西武ライオンズに入団している牧野翔矢選手に続き2人目です。友飛選手はプロ3年目の今年、打率2割7分2厘、打点8、本塁打1の好成績を残しています。1、2年目と比べ、打撃力を上げてきているようです。

友飛選手は2人はライバルです。競い合って、一日も早く一軍入る...です。



(西武ホームベース54)

# 能登の空にトキを！



立山連峰を背に穴水湾を七海方面から七ヶ崎の工サ場に向かうトキの「能登ちゅん」を思い浮かべて写真を作りました。  
(能登トキファンクラブ世話会代表 宮下源一郎)

「能登トキファンクラブ」のHPを見てください。  
nototoki.moo.jpです。  
そして、ぜひ会員として登録して下さい。

トキの保護活動には 羽咋の村本義雄さん(96)や金沢の岡本孝二さん(78)らが尽力されています。新潟県が「佐渡トキファンクラブ」は様々な活動を展開しています。

## 「能登トキファンクラブ」を設立

穴水町七ヶ崎の宮下源一郎さんが中心となって「能登トキファンクラブ」を設立しました。  
1929年(昭和4年)に眉丈山でトキが殺されたことから能登半島にトキが生存していることがわかったのです。  
その後 輪島市川口(現)や穴水町七海のアカマツ林を繁殖地と確認されました。しかし、1970年(昭和45年)に、本州最後のトキ(能登ちゅん)が穴水町で捕獲され、佐渡に移送されたあと亡くなりました。トキは絶滅しました。  
今年が「能登ちゅん」が亡くなった50年の節目です。  
穴水町はトキの本州最後の生息地でした。この能登の地に再びトキが舞うことを願い、それが実現できるように「能登トキファンクラブ」を設立した宮下さんはその意義を理解していたら、多くの方の力を借りたいと話しています。



(資料写真)

連絡先 穴水町七ヶ崎ホーリス 宮下源一郎  
TEL 077688-5216903

## 能登メッセージボード

### 能登北部地域ボランティア

能登北部地域ボランティア連絡会(輪島、珠洲、能登、穴水)では、各市町の医療従事者の皆さんを応援するメッセージボードを作成し、病院にお渡しする取り組みをしています。穴水町では各ボランティア団体、中学生、高校生の協力を得て、写真のようなボードを作成し、穴水総合病院へ渡してきました。このボードは、お礼状を付けて。



10月13日、島中院長にメッセージボードを渡しました。能登ボランティア連絡会 社協の関局長、橋本さん同行。